

寄稿

『情報科学会誌』の創刊号に寄せて

山崎 良也
(九州産業大学・前学長)



このたび九州産業大学『情報科学会誌』がめでたく創刊の運びとなりましたことを心からお祝い申し上げます。誠に慶賀至極に存じます。

本学情報科学部は2002年4月に開設されました。当学部は、社会情報システム学科と知能情報学科の2つの学科から構成され、各100名の定員から成っています。

社会情報システム学科では、信頼できる情報システムの設計や構築ができる能力とともに、それを社会的な使命と考える技術者を育成します。他方、知能情報学科では、人のために活かせる情報技術を教育・研究します。

両学科は基本的には相互に補完し合いますが、学生は本人の希望と適性に依じて、3年次に学科の所属が決定されます。

両学科の教育の特色は多々ありますが、顕著な特色をあげますと、①講義と演習・実験をセットにした少人数教育、②3つの言語(コンピュータ言語、日本語、英語)と数学を重視する、③数学、英語力を一定のレベルに引き上げるため能力別のクラス分けを取り入れ、必要に応じて補習授業を実施する、というようなきめ細かい工夫を凝らしています。

こうして社会と人間が必要とする情報環境を創造するIT技術者を育成するのが当情報科学部の教育の真髄といえます。

このような理想的な教育を効果的に推進するためには、少なくとも最先端の情報設備を設置することと最優秀の教育・研究者を揃えることが必要であります。

幸いにして、情報の専門分野において著名な牛島和夫教授と同志の方々を中心となって、すぐれたスタッフを国の内外から招くことができました。

今回、情報科学部が開設されて早くも、情報科学会誌の創刊号が実現したことは、これほどの慶びはありません。

本誌の各執筆者は、自己の学問の水準を高め^しがために、日夜孜々として倦むことなく研究に勤んできた日頃の研究成果を世に問うことによって、学界の評価を受けとめたいと願っています。

もしこの研究成果が進展極まりない情報科学の分野にいささかなりとも貢献できるならば、これにまさる幸福はありません。